

東京

東京編集部
〒100-8077
東京都千代田区
大手町1-7-2
☎ 03-3275-8747
FAX 03-3275-8975
shuto@sankel.co.jp

広告 042-525-4138
購読申し込み
0120-70-3034
配達・集金
0120-34-4646
紙面・記事
0570-048460

Web
<http://www.sankel.com/region/region.html>

民進都議から7人離党届

長島氏と行動共に公認候補で13人に

民進党に離党届を提出し除籍処分が決まった長島昭久衆院議員と政治行動を共にするとして、同党都議の酒井大史氏と、日野市議の菅原直志氏ら市議6人が25日、離党届を提出した。酒井、菅原両氏は民進公認で7月2日投票の都議選に立候補する予定だったが、これで民進の公認候補36人のうち、離党届を提出したのは計13人となった。公認ではない都議2人を合わせると計15人による。

酒井氏によると、この日離党届を出したのは、酒井、菅原両氏のほか、鈴木勝豊氏(日野市議)▽梅田春生氏(立川市議)▽松本

万紀氏(立川市議)▽太田光久氏(立川市議)▽小林浩司氏(昭島市議)。いずれも、長島氏の支持基盤である衆院東京21区(立川市、日野市、昭島市)内の議員。うち6人が都庁で記者会見を開き、離党届提出を発表した。

酒井氏は立川市選挙区選出。小池百合子知事が事実上率いる地域政党「都民ファーストの会」との連携に

ついて問われると、「私の経験を欲してくる人がいるなら応じていきたい」などと答えた。

都議選に日野市選挙区から出馬予定の菅原氏は小池氏主宰の政治塾「希望の塾」の都議選対策講座を受講したことを明かし、「何らかの連携をとりたい」と語った。

都議選

2017



民進党への離党届提出を発表する都議の酒井大史氏(右)と日野市議の菅原直志氏 一25日、都庁

関係者の動揺

都議と市議計7人が一斉に離党の意向を表明した25日、民進党の都連関係者に動揺が広がった。収まらない「離党ドミノ」に、お隣の衆院東京18区(武蔵野市など)が地盤の菅直人元首相は、民進に残る都議選公認候補を全力で応援するとブログで表明し、組織の引き締めを図った。一方、都議選でどうなる自民党の都連関係者は「選挙に影響はない」と表面き冷めた表情。

現職都議だけでなく、選挙戦を支える市議までが離党の動きを見せたことに、ある民進公認の都議選候補予定者は「支持者からも『民進』というだけで無党派の票が逃げるから無所属になるべきだ」とか「都民ファーストの会の公認獲得を目指すべ

菅元首相「ブレない候補者応援」

菅元首相は21日付の自身のブログで、民進を離党してないある都議選公認候補予定者を「ブレないで民進党公認で戦う覚悟を決めている」と称賛し、「ブレない民進党公認候補者を全力を挙げて応援するつもりだ」とした。

一連の民進の動きについて、都議選で対抗馬を擁立する自民都連の関係者は「支持率回復が見込めない今の民進党では、新しい候補者を出す実力はないだろうから候補者も増えない。結果的に、民進公認の候補者の看板が無所属か『都民ファースト』へ変わっただけで、何も変わっていない」などと冷静な姿勢を示した。

地元は冷静

一方、長島氏の長年の支持者としていう昭島市の元会社員の男性(70)は「小林市議は長島さんの秘書だから離党は当たり前」と話す。

日野市の元会社員の男性(78)は、「離党表明した市議の一人は大企業労組の支援があるから、政党の看板はあまり意味がないだろう」と分析。「来年の(日野)市議選で民進党はどうなるのか」と今後に関心を寄せた。

この日午後、都内の市長が顔をそろえる都市長会が東京自治会館で開かれた。会場入りしたある市長は取材に「民進市議がどう動いても市政に影響はない」と語り、すでに各市政における民進の存在感が薄れていることを印象づけた。

あすのこよみ

(27日) 旧4月2日 (大安)



月出	0:6
日入	4:54
日出	18:24
日入	5:35
月入	19:11
満潮	5:05
干潮	17:56
干潮	11:35
大潮	23:56

(東京)